



広報

# しゃこたん

令和8年

1月号

No.769

～ 伝統の技をつなぐ ～

## 丹精こめたしめ縄

＝ 積丹町生産活動センター ＝

### 主な内容

- 新年のごあいさつ
- 高齢者叙勲 磯野 久治さん（美国町）に瑞宝双光章
- 土井 昌昭さん（美国町）に地方教育行政功労者表彰
- 積丹町立美国小学校開校150周年記念式典

積丹半島と神威岬



北海道遺産

Shakotan Town Information 2026 January



# でとうございます



賀正

「積丹半島先端の地を興す」  
『小さな「官民連携の輪」を育てよう』

積丹町長 松井秀紀

明けましておめでとうございます。  
昭和31年（1956年）9月積丹町が誕生して70年、令和8年（2026年）の新年を町民の皆さんとともに、元気で迎えることができました。

町民の融和を大切に、時の多くの困難な課題を町民一人ひとりがみんなで乗り越える努力を惜しまず、70年のまちづくりの歴史を歩んできました。そして、今日の地方分権時代の自治体運営の重要性に、いつも真剣に耳を傾け、叱咤と激励をいただいてまいりました。

そうした町民の皆さん、町議会議員の深いご理解とご協力に職員とともに、心から感謝とお礼を申し上げます。

新しく迎えた2026年、政府は、国際情勢の不安定化や急激な気候変動が、国内の経済活動や国民の暮らしに大きな影響を及ぼしている現状から、国産農水産食料生産の増大と再生可能エネルギーの自給率の向上と安定確保の実現を目指すため、「強い経済の実現」の方針の下、国と地方が丸となった取り組みを促しています。

そのため、農林水産業の力の結集と、農山漁村に潜在する再生可能エネルギーや多様な地域資源の積極的な活用など農山漁村地域が果たす役割と振興が期待されています。

一方で、医療・介護・福祉、子育て、教育の制度改革や野生動物被害対策に伴う新たな国と地方の役割と負担のあり方が大きな論議として続いており、小規模自治体にとって、地方自治体間の財政力格差の拡大や、難しい財政規律の保持と厳しい財政運営が続くことが予想されます。

私たちは、町の「外からの視点」と「内の視点」の小さな官民連携の輪の力を結集して、町の活性化の夢を目指す新たな力を育て、確かな町づくりの歩みにしていきたいものです。

そして、町の「健全財政の維持」、「行政サービスの向上」、「町の活性化」という普遍的な三つの課題の均衡ある両立・克服を基本に、半島防災、CO2の抑制、温泉資源維持など、新たな課題の克服を目指し、また、全道179市町村の一員としての使命と信頼を担い、町民と議会と行政が共に力を合せていかなければなりません。

私は、国・道や「積丹応援団」の皆さんとの信頼関係と、町民の皆さんの融和と郷土愛を大切に、「郷土・積丹のまちづくり」に弛まぬ努力を続けてまいりたいと思います。

令和8年の新年を迎えて、町の平和と皆さんのご多幸と健康を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。



# 2026年 新年おめ



## 迎春

「いつまでも安心して住み続けられる

魅力ある町づくり」を目指して

積丹町議会議長 山本 俊三

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春を晴れやかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

年頭にあたり、積丹町議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには日頃から町議会に対し、深いご理解とご協力を賜りまして、心からお礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、日本国内では全国的に記録的な猛暑が続き、各地で山林火災や大分県では大規模な家屋火災、記憶に新しいところでは12月8日の夜に青森県東方沖を震源とする大きな地震が発生するなど、災害の多い年でありました。

また、経済面では止まらない物価上昇に加え、お米の価格が高騰し、国が備蓄米（古米・古古米）を放出する事態が起きるなど、我々を取り巻く環境は一層の厳しさを増しております。

本町におきましては、全国的にも熊の出没が相次ぐ中、町民の皆さまには大変ご心配をおかけしましたことに対しまして、町議会としても皆さまからのご意見等を真摯に受け止め、今後の信頼回復に努めて参る所存です。

そのような中でも名産のウニや自然探勝を求めるたくさん

の観光客の皆様に来ていただけていることは、積丹町がいかに魅力的な地であるかを証明しているものと深く実感しております。

積丹町は今年で町制70年を迎えます。少子高齢化や人口減少、福祉・医療サービスや教育、雇用や担い手確保、経済対策や施設更新など取り組むべき課題が山積しておりますが、「いつまでも安心して住み続けられる魅力ある町づくり」を目指して、町議会としましては、町民の皆さまの負託に一層応えるため、二元代表制の一翼として、町行政の監視機能や政策提言機能の充実強化を図ることはもとより、住民生活の向上と町勢発展のため、今年の干支である「馬」が象徴するように力強く前進し、積丹町にとって「飛躍」の年となるように全力を尽くす所存です。

これからも積丹町議会に対し、力強いご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまの今年一年のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## 高齢者叙勲

### 瑞宝双光章

公職選挙・町行政に尽力  
いその きゅうじ  
**磯野 久治** さん

元積丹町選挙管理委員会委員長の磯野 久治さん（美国町・88歳）が令和7年10月1日付で瑞宝双光章を受章されました。

この間、公職選挙制度の改正が相次ぐなか、混乱することなく公正な公職選挙の執行に尽力された功績が認められました。

磯野さんは平成14年から4期16年の長きにわたり町選管委員長を務めました。

また、昭和34年12月積丹町役場に奉職以来40年余にわたる町職員在職中には、平成8



年から1期4年間積丹町助役として白鳥町長を支え、その重責を担われました。磯野さんの受章を祝福し、ますますのご健勝をお祈りします。

## 新しい地域おこし協力隊員を紹介！

## — 文部科学大臣表彰 — 地方教育行政功労者

ど い まさあき  
**土井 昌昭** さん

前積丹町教育委員会委員の土井 昌昭さん（美国町・68歳）が文部科学大臣から令和7年度地方教育行政功労者として表彰されました。

土井さんは、平成17年3月から積丹町教育



委員会委員に就任し、令和7年3月までの20年余の長きにわたり、本町の教育行政の推進に貢献され、法改正前後の平成23年から平成29年までの4年間は同委員会を代表する委員長を務め、学校教育、社会教育、生涯スポーツ、文化の振興など本町の教育の充実・発展に尽力されました。この度の受賞、誠にありがとうございます。ますますのご活躍をお祈りします。

(株) TMW PRODUCTIONS  
(美国町)

くすのき ゆうたろう  
**楠 悠太郎** 隊員

はじめまして！

若さと元気を取り柄のパワーで、町に新しい風を吹き込みたいと思っています！

地域の「良いところ」



を再発見し、外へ向けてどんどん発信していくのが私のミッション（使命）です。

「とにかく明るい協力隊」として頑張りますので、仲良くしていただけると嬉しいです。

これから一緒に地域を盛り上げていきましょう！

応援よろしくお願いします。（札幌市出身）

12月1日現在、14名の『地域おこし協力隊』が委嘱され、町内の団体や事業所で活躍中です。町内で活躍する新しい力にあたたかい応援をよろしくお願いします。



明治・大正・昭和・平成・令和を継ぎ  
地域とともに歩んだ一世紀半

# 美国小学校開校150周年式典

町立美国小学校（神田秀樹校長、児童41名）の開校150周年記念式典が、11月22日に美国小学校体育館で行われました。

全校児童をはじめ来賓、保護者、卒業生、地域住民など156名が出席して節目を祝い、地域の発展と新たな歴史の創造に期待し、気持ちを新たにしました。

式典では、池田和聡記念式典実行委員長（PTA会長）が「今回の節目は、昔を振り返るだけではなく、この先の未来を見つめる機会でもあります。時代の変化が続く、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わるかもしれませんが、子どもたちを思う気持ちや、地域とともに学校を育てていく姿勢は、これからも大切にしていきたい。」と挨拶がありました。



また、神田校長の挨拶では、



「子どもたちの夢や目標と  
いったい思い  
や、地域・保

護者の子どもたちへ向ける思い。脈々と受け継がれてきた上級生が下級生に優しく接する文化。自分自身や周りの人たちを元気にする笑顔。時代とともに変わるものが多いからこそ、変えてはいけないこの3つに目を向けたい。」と話されました。

その後、在校生による合唱2曲が披露され、大きな声で歌う姿に出席者は心を打たれていました。



そして、後期児童会長の池田  
萌生さん（6  
年）が、お祝  
いの言葉と感  
謝の気持ちを

伝え、「今の美国小の温かさを  
ずっと受け継いでいってほし  
い。」と思いを述べました。

また、式典の中で、昭和52年の現校舎完成により役割を終えた当時の旧校舎階段の支柱が現校舎で保管されているとの紹介があったほか、同校の歴史スライドショーを上映しました。

式典終了後、卒業生や出席者は、在校生が150周年を記念して作った作品を観賞したり、会場内に並んだ奇贈品、歴代の卒業アルバムを手に取り、家族や友人と懐かしい思い出に浸っていました。



年号	年	美国小学校の主な沿革
明治	8	小泊村の民家（元運上屋・岩田金蔵家屋）を仮校舎に開拓使美国教育所を開設
	9	小泊村51番地に教育所を新築移転
	15	小泊村1番地に校舎新築移転、小泊学校と改称
	24	小泊尋常小学校と改称
	26	小泊尋常高等小学校と改称
	29	美国尋常高等小学校と改称
昭和	35	火災により焼失
	36	小泊村115番地（現・積丹町研修センター）に校舎新築完成
	16	美国国民学校と改称
	22	美国町立美国小学校と改称
	31	「積丹町」誕生に伴い、積丹町立美国小学校と改称
	50	美国小学校と婦美小学校統合校舎建設（総合小学校新築）工事着工
平成 令和	52	美国町字大沢214番地に新校舎（現・美国小学校）完成 美国小学校落成式及び開校100周年記念式典挙行
	22	幌武意小学校、入舸小学校統合
	7	野塚小学校統合 開校150周年記念式典挙行



# 一般会計

歳入歳出予算額 37 億 9,596 万 5 千円

# 公 表

## 町予算の執行状況を公表

令和7年度上半期（令和7年9月30日現在）

年度上半期（4月1日～9月30日）の町予算の執行状況をお知らせします。  
地方自治法の規定により税金や国・道からの交付金など、町の財政状況を公表するものです。

歳入 収入済額 16 億 1,566 万円

歳入科目		予算額	収入済額	収入率
自主財源	町税	1 億 5,201 万 9 千円	1 億 1,403 万円	75.01%
	分担金及び負担金	5,245 万 2 千円	604 万 4 千円	11.52%
	使用料及び手数料	4,184 万 3 千円	2,076 万 1 千円	49.62%
	その他	6 億 155 万 6 千円	1 億 6,520 万 7 千円	27.46%
	計	8 億 4,787 万円	3 億 604 万 2 千円	36.10%
依存財源	地方交付税	18 億 7,300 万円	11 億 9,503 万 1 千円	63.80%
	国・道支出金	6 億 4,997 万円	7,260 万 2 千円	11.17%
	町債	3 億 4,630 万円	0 円	0.00%
	その他	7,882 万 5 千円	4,198 万 5 千円	53.26%
	計	29 億 4,809 万 5 千円	13 億 961 万 8 千円	44.42%
歳入合計		37 億 9,596 万 5 千円	16 億 1,566 万円	42.56%

歳出 支出済額 11 億 5,166 万 1 千円

歳出科目		予算額	支出済額	執行率
議会費		5,810 万 5 千円	2,868 万 2 千円	49.36%
総務費		13 億 7,586 万 9 千円	3 億 4,409 万 1 千円	25.01%
民生費		4 億 8,741 万 7 千円	1 億 8,473 万 7 千円	37.90%
衛生費		2 億 2,185 万円	8,286 万 8 千円	37.35%
労働費		957 万 8 千円	449 万円	46.88%
農林水産業費		2 億 6,827 万 8 千円	5,368 万 5 千円	20.01%
商工費		1 億 9,985 万 4 千円	3,684 万 9 千円	18.44%
土木費		3 億 858 万 6 千円	2,042 万 9 千円	6.62%
消防費		2 億 1,578 万円	1 億 723 万 9 千円	49.70%
教育費		2 億 6,980 万 6 千円	8,836 万 5 千円	32.75%
災害復旧費		7 万円	5 千円	7.14%
公債費		3 億 7,917 万 2 千円	2 億 22 万円	52.80%
諸支出金		60 万円	0 千円	0.00%
予備費		100 万円	0 千円	0.00%
歳出合計		37 億 9,596 万 5 千円	11 億 5,166 万 1 千円	30.34%

※令和6年度繰越明許費を含む。

※係数はそれぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

# 特別会計

## 公営企業会計

特定の事業を行うため、一般会計の歳入・歳出と区分して経理するための会計です。

## 特別会計

会計別	事業勘定	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	事業勘定	1 億 2,385 万 7 千円	3,376 万 2 千円	27.26%	5,437 万 3 千円	43.90%
	直診勘定	9,946 万 3 千円	932 万 6 千円	9.38%	3,456 万 6 千円	34.75%
介護福祉サービス事業		6,618 万 9 千円	566 万 6 千円	8.56%	1,911 万 3 千円	28.88%
後期高齢者医療		4,713 万 5 千円	1,532 万 7 千円	32.52%	1,441 万 8 千円	30.59%

## 公営企業会計（簡易水道事業）

	現行予算額	収入済額	収入率		現行予算額	支出済額	執行率
収益的収入	1 億 2,694 万円	5,175 万 9 千円	40.8%	収益的支出	1 億 4,236 万円	1,468 万 5 千円	10.3%
資本的収入	4,101 万円	0 千円	0.0%	資本的支出	7,420 万 8 千円	808 万 6 千円	10.9%

## 公営企業会計（集落排水事業）

	現行予算額	収入済額	収入率		現行予算額	支出済額	執行率
収益的収入	8,181 万 3 千円	2,743 万 3 千円	33.5%	収益的支出	7,103 万 7 千円	1,070 万 7 千円	15.1%
資本的収入	4,180 万 1 千円	0 円	0.0%	資本的支出	6,862 万 5 千円	1,497 万 8 千円	21.8%



### 行政報告 (要約)



令和7年第4回町議会定例会が12月16日に招集され、報告1件、議案10件、意見案1件が審議され、同月18日に閉会しました。  
そのあらましについてお知らせします。

#### はじめに

■ 7月20日執行の第27回参議院議員通常選挙の結果を受け、10月4日退陣表明した石破茂首相の後継自由民主党総裁選挙を経て、10月21日召集の第219回臨時国会で初の女性第104代首相となる高市内閣が発足しました。

新内閣は、日本維新の会との連立政権を基盤に比較第1党として、強い経済を実現する3本の柱を軸に、「責任ある積極財政」の下で、日本の経済力・防

衛力・外交力・技術力・人材力による「総合的な国力の強化」と、「現世代が未来の世代に『希望』を託せる国づくり」を目指すことを政権の基本方針としています。

■ 一方、全国町村会では、国際情勢の不安定化や急激な気候変動が、経済活動や国民の暮らしに大きな影響を及ぼしている現状を踏まえ、政府に対して、

① 我が国の農山漁村地域は、古来より食料を供給する重要な役割を果たし続けており、その農山漁村地域を守り抜かなくてはならないこと。

② 一方、従事者の不足等、第一次産業が抱える課題は深刻化し、食料安全保障や国土保全の観点からも看過し得ない状況にあり、次代を担う若者たちに、安心して暮らせる社会を継承する責任があること。

③ そのためには、我が国農林水産業の総力を結集した国産食料生産の増大と、農山漁村地域に潜在する地域資源の利活用を飛躍的に進める必要があること。

④ それらを担う農山漁村地域

の振興を、国家戦略の最重要事項に位置付け、農山漁村地域が果たす役割に対する国民理解の促進を図るとともに、その実現に向けた、実効性のある具体的な対策を講じること。

などを強く求める全国926町村の総意を結集した要請活動を続けています。

■ 私たちは、様々な国難が続く中で、国の今年度の補正予算審議や来年度の予算編成に向けた経済・医療・介護・子育て等社会保障・教育・防災・国防・税制改革などの重要政策予算が、今後の地方自治体の財政運営上の新たな負担と身近な住民生活や国民負担にどのように影響し、また、半島地域の防災強化や農山漁村・過疎地など地方の活性化支援対策に機動的に生かせるのかなど、今後の動向と国会での議論の行方に大きな関心を寄せていかなければなりません。

### 行政報告

泊原発3号機の再稼働に関する知事意見照会への対応

11月10日付けで北海道知事から、政府から同原発再稼働に向けた理解要請(同意要請)があった立地4町村を除く、「泊発電所周辺の安全確認等に関する協定書」を締結している後志管内16市町村に対し、道の再稼働の是非を判断するうえでの参考としたいとして、意見・要望の照会がありました。

照会は、16市町村の再稼働の同意の是非を問うものではありませんでしたが、私のこれまでの現状認識と本町議会の関連する意志決定の歴史的経緯等を踏まえて回答しました。

道知事からの照会文書及び町長の回答文書の写しを参考配布(14頁掲載)

### 国の新たな総合経済対策

政府は、11月21日、物価高対策を最優先とする「『強い経済』を実現する総合経済対策」を閣議決定しました。

同対策は3本の柱からなり、  
第1 生活の安全保障・物価高



への対応

第2 危機管理投資・成長投資による強い経済の実現

第3 防衛力と外交力の強化

でその対策の裏付けとなる一般会計総額18兆3,034億円の令和7年度補正予算案を同月28日閣議決定し、10月21日に召集され現在開会中の第219回臨時国会に提出し、年内の早期成立を目指すと考えています。

同対策は、物価高対策として、重点支援地方創生臨時交付金（地方創生臨時交付金）2兆円が盛り込まれておりますので、地方自治体が対応すべき具体施策の内容と交付金限度額等の把握に努めながら、本町独自施策区分に応じた計画事業の検討を進めます。

また、同対策での、こども1人2万円の「物価高対応子育て応援手当」について、地方自治体に対し年内の予算化による早期の支給を求めています。

国の最終的な運用事務取扱通知等を待ち、適期に補正予算措置を講じたいと考えています。

ます。

「子育て応援手当」関連の予算案は会期中に追加提出・可決されました。

#### ヒグマ対策に係る対応状況

11月13日古平分区活動再開  
町長が重ねて陳謝

11月7日の町議会産業建設常任委員会（所管事務調査）後の対応について報告します。

猟友会との活動再開に向けた確認事項（「ヒグマ出没・捕獲対応マニュアル（町ヒグマ出没・捕獲対応業務取扱要領）」の策定作業を経て、11月12日に北海道猟友会余市支部古平分区に所属する積丹町鳥獣被害対策実施隊員及び同会余市支部役員との同マニユアルの内容確認と意見交換の結果、翌13日から同古平分区の活動が再開されました。

また、同月10日に、町内小・

中学校を訪問し、議会対応の経過等の説明をしてまいりましたほか、同13日には、美国小・余別小・美国中学校PTAの代表者3名が役場を訪れ、同日現在の会員153名分の署名とともに、ヒグマ出没異常事態における児童生徒の登下校の安全確保などの窮状と対策に関する2項

目の要望書の提出がありました。

この間、町内での猟友会の活動が休止し、その再開が遅れたこと、結果として、児童生徒・保護者、教育関係者、町民の皆様、そして議員各位に大きな不安とご心配をおかけしました。町政を預かる立場から改めてお詫びを申し上げます。

また、猟友会余市支部古平分区会員の皆様のご理解とご協力に重ねて感謝を申し上げます。引き続き、同猟友会等関係機関との連携を密に、ヒグマ対策の充実に努めます。

PTAからの要望書の写しを参考配布。

会期中（12/17）の産業建設常任委員会でも古平分区の活動再開など前回（11/7）委員会以降の経過を報告。

#### 国等への要請活動

全国町村長大会は、11月19日、東京都渋谷区NHKホールで、全国926の町村長、都道府県町村会関係者及び来賓の高市内閣総理大臣、額賀衆議院議長など約1,300人が出席して開催されました。

たのたかお  
棚野孝夫全国町村会長（北海道白糠町長）及び来賓の挨拶の後、「減税による地方の減収に対する代替財源を含め、町村にとって最重要課題である地方交付税等の一般財源総額を確保すること。」など15項目の決議のほか、「食料およびエネルギー自給率の向上対策と農山漁村地域の振興を求める特別決議」などが採択され同日閉会しました。

日程を前後して、11月17日に全国過疎地域連盟総会、18日に北海道マリンビジョン促進期成会の令和8年度直轄漁港予算中央要望活動及び、公益社団法人全国国土調査協合理事会並びに同協会令和8年度全国地籍調査関係予算の自由民主党本部及び財務省要望活動、20日に北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会、北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会の中央要望活動、12月3日には北海道町村会農林水産常任委員会中央要請活動に参加しました。





## 総務課関係

### 犯行予告に伴う緊急対応

11月1日土曜日、本町に対し役場庁舎を爆破するとの予告があったことから、余市警察署と協議のうえ、11月3日までの3日間、隣接する総合文化センターを閉鎖し、管理職員の参集を求めて庁舎等の点検、見回りなど、安全・警戒体制の強化に努めたほか、同センターで開催していた積丹町文化祭が中止となりました。

なお、本件に係る被害届を11月18日、余市警察署に提出しました。

## 企画課関係

### 後志広域連合の動向

後志広域連合議会第2回定例会は、11月25日招集され、令和6年度一般会計、国民健康保険事業特別会計及び介護保険事業特別会計の各決算認定、令和7年度国民健康保険事業特別会計及び介護保険事業特別会計の各補正予算案の5件が審議され、

全議案を原案のとおり可決し、同日閉会しました。

令和6年度各会計決算の概要について、決算審査意見書により報告します。

①税及び税外の滞納整理は、引受額4,406万1千円（うち積丹町分424万9千円）に対し、徴収額は2,532万円（同217万7千円）、徴収率57.46%（同51.24%）で、前年度実績比徴収額は287万4千円増（うち積丹町分69万9千円減）、徴収率は6.1ポイント増（同7.02ポイント減）です。

②国民健康保険事業における令和6年度末の被保険者世帯数は、8,725世帯（うち積丹町329世帯、3.8%）、総被保険者数は、1万2,967人（同530人、4.1%）です。

また、令和6年度決算の認定に伴い、道支出金・保険給付等交付金（特別）の交付額の増額により、当町の分賦金精算額444万円が還付されます。

③介護保険事業における、令和6年度末被保険者数は、1万7,195人（うち積丹町826人、4.8%）、前年度同期比216人減（同18人減）で、

要介護（要支援）認定者数は、3,631人（同209人、5.8%）と前年度同期比32人減（同増減なし）です。

### 地域生活公共交通維持対策

①積丹町生活交通バス（しゃこバス）の運行状況

8,450人乗車、収入286万円

令和6年4月から令和7年3月までの1年間の利用者は、延べ8,450人（3.3人／便）、運賃収入は、286万8,800円（うち回数券収入41万2,900円、14.4%）です。

令和7年4月から令和7年11月までの利用者は、延べ7,621人（4.0人／便）、運賃収入は、258万7,100円（うち回数券収入25万9,100円、10.0%）です。

12月1日からは冬期運行時刻となり、今後大雪や吹雪など運行への影響が懸念されますが、北海道中央バス㈱や受託事業者と連携し安全で円滑な運行体制の維持に努めます。

②「積丹線」運行収支不足の沿線自治体負担

積丹線（美国・小樽間）の収支不足額（令和6年10月から令和7年9月まで）は、現在バス事業者において精査中ですが、減便等による収支改善により収支不足額は発生しない見込みですが、引き続き、沿線1市3町間で、利用者増の取組とともに、同線の存続維持を基本とした沿線自治体負担の新たな枠組みについて、協議を重ねています。

### 官民連携推進事業の実施状況

①民間寄附支援制度との連携事業

今年度、エア・ウォーター北海道㈱の寄附金制度により採択を受けた300万円の使途事業（「環境と社会の未来を創る積丹型エコツーリズム推進事業プロジェクト」）は、11月29日実施の漁村文化を体験する「鯨場ツアー」など「積丹型エコツーリズム」の普及啓発や実践ツアーを町地域活性化協議会を事業主体に推進中です。



## 議会ニュース

### ②温泉事業者との連携事業

町内西河地区の温泉事業者が、国の「地域経済循環創造事業交付金」の活用を検討していた温泉施設改修事業（地域の課題解決と経済循環を担う「しゃこたん湯の駅」造成プロジェクト）が、10月17日付けで、総務大臣から採択通知を受けました。

泉質の希少性・優位性を本町の地域資源として活かしたバリアフリー個室（入浴宿泊室）や入浴・宿泊者以外も利用可能な交流スペースの整備、冬期滞在プランの造成など既存施設の機能充実整備に係る官民連携支援国費交付金等の補正予算案を提出しました。

### 地域おこし協力隊の状況

12月1日現在、町内8事業所で全14名の隊員が活躍中です。なお、今年度新たに地域おこし協力隊受入事業所として決定した3事業所について、現在募集支援を行っています。

### ふるさと納税寄附金の状況

11月末 6,666万7千円  
11月末現在の返礼品取扱登録事業者は、35事業者、416品目で、寄附件数及び金額は、4,735件（前年度比3,385件、250・7%増）、6,666万7,800円（同比3,647万4,800円、120・8%増）です。

ふるさと納税返礼品の経費割合の見直しや返礼品における地場産品の考え方など国の制度運用方針は、過疎・半島地域等にとって有利とは言い難い要件となっていますが、引き続き同制度の枠組みに沿って寄附者との信頼関係を大切にしながら地場産品等の拡大に努めます。

### 高知県香美市との交流事業

10月17日から20日までの4日間、姉妹都市の高知県香美市に、山本議会議長を団長とし、馬場町地域間交流推進協議会長とともに総勢10名が訪問し、第42回刃物まつりに出店参加しました。

刃物まつりは、同月18、19日の両日開催され、香美市の皆さん

のご協力をいただきながら、同協議会が用意した鮭のチャンチャン焼き、ジャガイモ、カボチャなどの販売を行い、会場を訪れた多くの市民の方々の歓迎を受けて、北と南の交流を深めることができ、大変有意義な訪問であったとの報告を受けています。

### 住民福祉課関係

#### 余市協会病院救急医療に対する財政支援負担金

積丹町夜間急患113人  
191万7千円

10月3日、北後志地域保健医療対策協議会総会において、北後志地域住民の救急医療確保の重要性の観点から、今年度も北後志5町村が連携して同病院からの赤字支援要請に応えることが確認されました。

なお、支援負担額については、余市協会病院からの財政支援の増額要請に沿って、平成22年度から助成限度額として継続している「2,500万円」を「3,500万円」に増額し、令和6年度各町村別の同病院夜間救急患者利用実績により算定した当

町の支援負担額は191万7千円（前年度129万4千円）と決定されました。同負担金の補正予算案を提出しました。

#### 地域福祉交通支援（バス乗車券等助成）対策事業

これまでの町民税非課税世帯のほか、町民税均等割のみ課税世帯も助成対象とする町独自施策事業の要件基準を拡充して実施することとし、補正予算案を提出しました。

### 国保診療所関係

#### 外来患者数等の状況

11月末現在の外来患者数の状況は、延べ2,847人（1日平均18人、診療日数156日）で、前年同期と比較し156人減、1日平均3人減（前年度1日平均21人、診療日数144日）という状況です。



## 保育所関係

### 保育所の運営状況

12月1日現在の入所児童数は、びくに保育所が、21人（前年度比2人減）、みなと保育所は5人（前年度比3人増）です。両保育所の生活発表会は、みなと保育所は12月7日に、びくに保育所は同月13日に開催します。

### 子育て支援センターの運営状況

11月末現在の利用者数は、延べ310人（前年度比153人減）、1日平均1.9人の利用です。

### 乳児等通園支援事業導入の検討状況

令和8年4月から施行される国の「こども誰でも通園制度」は、0歳6ヶ月以上3歳未満の児童を、一月の一定時間までの利用可能枠の中で、保護者の就業要件を問わず時間単位で保育所を利用できる子育て家庭への支援強化対策です。

本町の事業の導入に向けて、運営課題等を検討中です。

## 保育料等無償化の動向と対応

政府は、急速な出生率の低下の深刻化への人口減少対策の一環として、こども施策を社会全体で総合的に推進するため「こども基本法」の施行や少子化対策の具現化を目指す「こども未来戦略」を策定し、こども・子育て支援施策の充実を推進しています。

また、本年6月に閣議決定された、国の「骨太の方針2025（経済財政運営と改革の基本方針）」では、「0歳から2歳を含む幼児教育・保育の支援」について具現化・実現を目指すとしています。

町としては、保護者の経済的負担の軽減のあり方も踏まえた保育所等に通園通所する児童の「保育料及び副食費等の無償化」の方向性について、国や管内市町村の動向を踏まえながら、課題克服の検討を進めたいと考えています。

## 商工観光課関係

### 観光施設の利用状況

「水中展望船」は、乗船者数の増及び乗船料金引上げ等により売上金額は約2,668万円で、前年度比約716万円（36.7%）増となりましたが、コロナ禍の令和2年から続いている繰越剰余金を今期も減ずる状況にあり、引き続き厳しい経営状況にあります。

「しゃこたん土産と喰処カマイ番屋」は、強風等の影響による遊歩道の一部利用規制などの影響等により、売上金額が約7,011万円で、前年度比約393万円（5.3%）減と前年度を下回っています。

なお、「水中展望船」は10月17日に、「カマイ番屋」は10月26日に、それぞれ今年度の営業を終了しました。

### 岬の湯しゃこたんの運営状況

厳しい経営状況続き今冬季も休業に

「泉源の異状」への対応状況については、9月22日から「水位計の設置」及び「給配水管経

路等の改良」の追加措置を実施して当施設へ温泉水の通水を開始しました。

昨年8月から「泉源の異状」が続いていましたが、現時点では、湯湯量は毎分32L、入湯施設内の泉温は約42℃と安定した状況にあります。

今年度の同施設の営業状況は、令和4年の民営開業時のコロナ禍の苦境を脱し切れていない状況が続いてきた中で、昨年8月からは「泉源の異状」による井水を加温しての営業に直面し、燃料費等の増高に伴う露天風呂の一部閉鎖や入浴料金引上げ、誘客増対策のほか、開業時の施設老朽化修繕資金の償還猶予要請など、経営収支の改善に努めてきましたが、依然として厳しい経営状況が続いているため、昨年度に引き続き今年度も12月1日から冬期間の営業を休止せざるを得ない旨の報告がありました。

（株）SHAKOTANGOから報告のあった「岬の湯しゃこたんの営業状況資料」を参考配布



## 議会ニュース

### 観光誘客対策

(一社) 積丹観光協会では、10月23日に小樽港に寄港した大型クルーズ船の道外及び外国人旅行者への観光PR活動や、10月18日には、北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)で開催された「北海道遺産フェス in 赤れんが」において観光と物産のPRを行いました。

また、交通旅行系ユーチューバー「ZAKI」さんを招聘して、公共交通機関を利用し、町の旅行風景や旅館等を紹介した観光PR動画を作成し、10月25日からユーチューブ配信され、既に30万回以上視聴再生されるなど誘客対策に取り組んでいます。

### 農林水産課関係

#### 農業の概況

新おたる農業協同組合の当町管内畑作物の生産状況は、高温による影響が多少あったものの、概ね良好な作柄でした。

11月末現在の販売額は、南瓜は、3,189万円(前年比22.1万円、6.5%減)、ニンニクは、560万円(前年比13.7万円、32.4%増)、作付面積が大幅に減少したミニトマトは、2,878万円(前年比7,285万円、71.7%減)となり、当町管内分は、生産量及び販売額ともに前年度を大きく下回る見込みとの報告を受けています。

肉用牛については、1戸の農家が肥育素牛の生産・販売を行っています。

#### 鳥獣被害防止対策の実施状況

ヒグマについては、12月5日現在の目撃情報は69件(前年同期22件)、ヒグマ捕獲用箱わなによる捕獲頭数は、過去最多の10頭(美国町内3頭、野塚町内

5頭、余別町内2頭)です。また、エゾシカについては、

継続実施中の緊急捕獲事業で銃器のほかくりわなによる捕獲を併用実施し、11月末までに40頭を捕獲し、冬期間の一斉捕獲事業を来年3月末まで4回実施する予定です。

#### 国有林治山事業の実施状況

黄金岬地区美国漁港船揚場地先緊急予防治山事業(落石防止網工)は、10月22日に着工し、明年3月下旬完了予定です。

#### 道営治山事業の実施状況

小泊地区陣内地先予防治山事業(落石防止網工)は9月26日に、令和8年度までを計画期間とする今年度の黄金岬地区役場裏地先緊急予防治山事業(暗渠工、法枠工等)は11月13日に、日司川緊急予防治山事業(床固工)は11月20日に、それぞれ完了しました。

### 分収造林事業の実施状況

美国団地の地拵施業(3.1ha)は11月19日に、婦美国地六地区基幹作業道開設工事(延長237m)は、11月25日に完了しました。

婦美国地丸山地区の更新伐委託業務(6.5ha)は、婦美町「伐採木集積土場」への搬出・集積が10月31日に完了し、森林整備センターによる同木材の販売入札を12月25日に予定しています。

また、美国団地の地拵施業(1.2ha)、婦美国地丸山地区の植栽施業(6.5ha)に係る整備費負担金の追加内示がありました。降雪期を迎え今年度中の施業が困難なため、同センターと協議のうえ、繰越明許費の設定により令和8年度に予算を繰り越して実施するため補正予算案を提出しました。

#### JTの森積丹森林保全活動

10月19日開催中止

積丹川流域エリアを主会場に10月19日開催を予定した「JTの森積丹 森づくりの日」森林保全活動については、開催日直





前に会場周辺でのヒグマ目撃情報相次いだため、参加予定者の安全確保を考慮し、中止としました。

### 未整備私有林整備活動事業の実施状況

町内野塚地区の未整備私有林を活動拠点に、森林の多面的機能の発揮と、関係人口の創出を通じて山村地域の維持・活性化を目的とした国（林野庁）の財政支援制度を活用して実施している民間活動組織（積丹グリーン代表 森田信道氏、札幌市）から、森林活用イベントの開催や薪製造等、5年目となる今年度の活動実績の報告がありました。

引き続き来年度も同支援金を国へ要望することとしています。

### 漁業の概況

11月末現在の東しゃこたん漁業協同組合の当町管内水揚げ状況は、水揚げ量がホッケなどの主要魚種全般で前年を下回ったことから、前年比704t（42・2%）減であったものの、水揚げ

単価が高値で推移したため、水揚げ高では1,978万円（1・8%）増の前年度同等額で推移しています。

### 資源増殖関係事業の実施状況

東しゃこたん漁業協同組合の資源放流増殖事業は、上磯郡漁協で生産したエゾバフンウニ種苗12万粒（美国地区6万粒、日司地区3万粒、余別地区3万粒）を10月31日に各地先海域に放流し完了しました。

北海道のFP魚礁設置工事は、11月19日に魚礁ブロック171基を神岬地区サルワン沖合海域に沈設し完了しました。

### ブルーカーボン推進事業の実施状況

13・2t-CO2クレジット申請へ「積丹町ブルーカーボン創出プロジェクト協議会（会長・東しゃこたん漁協茂木組合長、構成・美国・美しい海づくり協議会、余別・海HUGくみたい他構成5団体）」は、今年度の藻場の保全・創造活動によるCO2吸収量を13・2t-CO2と算定し、11月17日付けでJブ

ルーカーボンクレジット認定申請を行いました。公募取引は12月下旬から2月下旬までの期間中に行われる予定です。

### 「ジャパン・サステナブルシーフード・アワード2025」の受賞

全国の持続可能な水産業の推進やサステナブル・シーフードの普及に貢献する活動を表彰する株式会社シーフードレガシー及び日経ESG主催の第6回「ジャパン・サステナブルシーフード・アワード」において、積丹町ブルーカーボン創出プロジェクト協議会が、特に優れた取組として最高賞の「チャンピオン」を受賞しました。

9月30日、2025大阪・関西万博会場で催された同賞発表・授与式には町職員他2名が招かれました。

## 建設課関係

### 美国小学校裏防災避難階段施設の管理協定と供用開始

北海道開発局が整備した美国小学校裏防災避難階段が完成し、10月16日に同小樽開発建設部と「積丹町美国地区の一般国道229号に接する階段等の管理に関する協定」を締結し、同日付で町道美国小学校高台線として供用開始しました。

なお、供用開始に伴い同部では、避難階段を登り切った美国峠第1カーブ付近の国道敷地内に防災避難場所を臨時的に仮設整地しましたが、引き続き、同避難場所の整備について要請します。

### 黄金橋下流域の河川維持工事の実施

北海道小樽建設管理部では、美国川黄金橋から下流約100m区間の河道断面を確保し、流下能力の向上を図るため、中州等の土砂及び支障木の除去工事を道単独事業により、1月中旬から3月下旬にかけて実施する予定です。



## 町道等除排雪対策事業

今年度の除排雪事業計画は、昨年度と同水準で除雪車出動基準一夜積雪深10cmを維持し、町道は10.5路線35.2km、公共施設9.8km、延長45.0km（前年度44.9km）を常時除雪路線とし、このうち町道及び公共施設総延長25.8km（同25.7km）は、運搬排雪を実施します。

除雪路線沿いの堆雪場所の確保や美国流雪溝の適切な運用への協力要請と、町民への排雪実施予定日の情報提供など効果的な実施に努めます。

除雪路線沿いの堆雪場所の確保や美国流雪溝の適切な運用への協力要請と、町民への排雪実施予定日の情報提供など効果的な実施に努めます。

## 建設工事等の発注状況

52件 5億9,537万5千円

12月9日現在の建設工事の発注状況は、土木関係12件、建築関係13件、上下水道関係4件の計29件、工事契約金額は4億4,042万9千円です。

うち、現在施行中の工事は、黒岡橋長寿命化修繕工事他13件です。

委託業務は、土木関係12件、上下水道関係9件、地籍関係2件の計23件、除排雪業務を除き委託契約金額は1億5,

494万6千円です。

うち、現在実施中の業務は、野塚2号橋長寿命化修繕実施設計委託業務他16件です。

これにより、工事と委託業務を合わせた総契約件数は52件、総契約金額は5億9,537万5千円であります。

今後、冬期間の河川浚渫等維持補修工事の発注を予定しています。

（11/10・道知事）北海道電力株式会社泊発電所3号機の再稼働に係る判断に向けた意見聴取（照会）

## 【知事照会要旨】

北海道としては、原発について、その安全性や必要性については、エネルギー政策に責任を持つ国が丁寧に説明し、道民の皆様との理解と信頼を得ていくことが重要と考えており、その上で、泊発電所3号機の再稼働について、道議会や関係自治体、道民の皆様との声を踏まえ、総合的に判断していくこととしている。

このため、道では、これまで、岩宇4町村や後志管内、さらには道内6圏域において説明会を

開催するなどし、道民の皆様から賛否にとどまらない多様なご意見やご質問を直接伺っているところであり、道とともに北海道電力と「泊発電所周辺の安全確認等に関する協定書」を締結している後志管内16市町村からも幅広くご意見やご要望等について伺いたいと考えている。

【町長回答（原文まま）】  
I 福島原発の過酷な避難対応や14年経過した現在も多くは帰宅困難者、除染対策等への関係自治体対応の厳しい現状や、本町の厳冬の半島地域の立地条件と夏期間の観光客・海浜遊樂者の集中等の現状を考慮するとき、実効性のある避難対策を構築したとしても、それをもって「原発の安全性」に対する住民理解が深まったと判断することは現時点では難しいのではないかと考えている。

また、当町議会は、平成11年9月に泊発電所3号機増設に反対する意見書を議決した経緯にあり、住民を代表する議会の議決の重みを考慮すると、歴史的に「反対」としてきた経緯にあるため、特に慎重な判断である

べきと考える。

II 令和7年6月3日道公表の「日本海沿岸の地震・津波被害想定」との複合災害を想定した住民避難対策の構築強化が極めて遅れており、次のような対策が急務と考える。

（1）能登半島地震災害の教訓を踏まえ、半島の条件不利地域としての国・道の横断的・総合的な防災対策を緊要としている。

① 避難階段、避難場所、避難施設、公共施設等及び防災備蓄品等の充実強化

② 国道、道道、漁港、治山施設等の耐震補強及び津波対策の強化

③ 福祉避難施設対策と災害関連死抑止対策の充実強化

④ 水道、下水道等生活インフラ施設の耐震強化促進

⑤ 木造住宅や民間建造物等の耐震化促進財政支援制度の充実強化

（2）自治体の財政負担の軽減と安定財源対策の確保





## 教育行政報告 (要約)



### 犯行予告に伴う緊急対応

第55回積丹町文化祭は、展示の部を11月1日から3日まで、芸能発表の部は11月2日に総合文化センターにおいて開催する予定でありましたが、11月1日、本町に対し、役場を爆破するとの予告があったことから、町長部局及び町文化祭実行委員長と今後の対応を協議した結果、町民の安全確保に万全を期すため、中止とさせていただきます。

今年度の文化祭に向けて、早い時期から準備をされてきた関係団体の皆様、また、当日の開催を楽しみにされていた皆様は大変残念な想いをされたことと思いますが、急な中止にもかかわらず、

わらずご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

また、11月3日には、11月6日の朝の登校時に町内全校の児童生徒を誘拐するとの予告がありました。

このため、全町立学校長を招集のうえ、緊急の臨時校長会議を開催し、対応について協議を行った結果、予告当日については、児童生徒及び教職員の生命を守り、安全の確保に万全を期すため、緊急事態に備え、町内全校を臨時休校にすることと決定したところです。

児童生徒、保護者及び教職員の皆様には、不安な日々を過ごされたことと思いますが、児童生徒の安全確保を最優先とした

対応ですので、教育委員会として、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、引き続き、各学校と連携し、児童生徒の安全確保に全力で取り組んでまいります。

### 美国小学校開校150周年

#### 記念式典

美国小学校が150周年を迎え、11月22日、山本議長をはじめ、議員各位並びに町内外から多数の参加者が参列し、記念式典が挙行されました。

長年にわたり、同校の運営にご尽力をいただいた歴代校長をはじめとする教職員の皆様、保護者や地域の皆様には、地域と共に歩む学校として、素晴らしき歴史と伝統を築き上げてきたことに対し、深く敬意を表します。

今後もふるさと積丹を愛し、次世代を担う子どもたちの育成に向け、新たな歴史が積み上げられますことを期待しております。

記念式典の開催にあたり、企画運営に携わってこられた実行委員の皆様、教職員、保護者並

びに地域の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

### 令和7年度学校行事（秋季）

10月4日から26日までの間、町内各学校において学習成果を発表する学芸会や学校祭が開催され、児童生徒は自ら掲げたスローガンに向けて、仲間と共に力を合わせて演劇や合唱、ダンス、器楽演奏、体育発表などを披露し、保護者や卒業生、地域の方々から大きな拍手と温かい声援が送られていました。

児童生徒には最後まで物事を成し遂げた経験が自信となっており、今後の活動への活力となるよう期待しております。

また、保護者並びに地域の皆様には、事前準備や当日の運営、出演などにご協力いただき感謝とお礼を申し上げます。

### 令和8年積丹町二十歳の集い

11月19日、文化団体連絡協議会、自治会等連合会、老人クラブ連合会等のほか、二十歳の参加対象者で構成する積丹町二十



## 議会ニュース

歳の集い実行委員会（実行委員長・河岸悟郎文化団体連絡協議会会長）を開催し、次世代の担い手である二十歳の若者の門出を祝す催しを、明年1月11日に総合文化センターにおいて開催することとしました。

今年度の対象者は、12月1日現在、9名で、現在、式典内容や記念品等の準備を取り進めています。

### 香美市との姉妹都市交流

令和8年1月11日から4日間の日程で、町内小学校の5年及び6年生の児童15名のうち12名と引率3名（教職員2名・教育委員会職員1名）が香美市を訪問し、市内小学校児童との交流活動やホームステイ、市内施設見学などの体験学習を予定しています。

歴史や文化の異なる地域の児童との交流や生活体験を通して、広い視野や社会に適應する力が育まれることを期待しております。

## 審議された案件

### 報告第1号

専決処分の承認について（令和7年度積丹町一般会計補正予算（第8号））

令和7年9月14日執行の積丹町議会議員選挙における町選挙管理委員会の「当選の効力に関する異議申出」に係る争訟手続助言等業務費用等50万円を予算措置したもの。

（承認）

### 議案第1号

積丹町公告式条例の一部改正について

地方自治法に基づき条例で定める町の公告式の「揭示場」を、10力所から3力所に減じ、揭示場施設の適切な管理と同事務の効率化に資するため、町条例の一部を改正するもの。

（原案可決）

### 議案第2号

積丹町職員の給与に関する条例の一部改正について

令和7年人事院勧告に基づく国家公務員給与改定に準拠して、町職員に係る給料表及び期

末勤勉手当支給率等の改定措置を令和7年度支給分から適用実施するもの。

（原案可決）

### 議案第3号

積丹町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

常勤一般職員の給料表に準じ会計年度任用職員の給料表及び期末勤勉手当支給率の改正措置を令和7年度支給分から適用実施するもの。

（原案可決）

### 議案第4号

特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

積丹町特別職報酬等審議会の答申を経て、特別職及び議会議員の期末手当支給率（年間4・65月及び4・15月）の改定措置を令和7年度支給分から適用実施するもの。

（原案可決）

### 議案第5号

簡易水道使用料債権の放棄について

同使用料の滞納債権について消滅時効が経過し、かつ、債務者が死亡し、その相続者の納付意思がないことが確認された債権2件、総額3万4,770円を不納欠損処分するもの。

（原案可決）

### 議案第6号

令和7年度積丹町一般会計補正予算（第9号）

専決処分後の歳入歳出予算の総額に1億1,960万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ39億2,802万8千円にするもの。

主な内容は、行政報告で述べたほか、①令和7年人事院勧告に準拠した町職員給与の改定及び特別職・議員の期末手当の改定に伴う他会計繰出金を含む増額、②ふるさと納税寄附金管理経費の増額、③地域おこし協力隊起業等支援補助金、④福祉灯油購入助成事業費など。

また、分収造林事業費（美国団地地拵施業、婦美団地丸山地区植栽施業）について、繰越明



許費の設定により令和8年度に予算を繰り越して事業を実施するもの。

などを増額。

(原案可決)

歳入は、分収造林事業費負担

金1,270万円、国庫補助金

(地域経済循環創造事業交付金)

1,875万円、ふるさと納税

寄附金(個人版・企業版)3,

757万7千円、基金繰入金(ふ

るさと振興基金)312万5千

円、繰越金(前年度繰越金)

4,308万9千円などを増額

し、国庫補助金(地域公共交

通確保維持改善事業費補助金)

250万円を減額。

歳出は、職員人件費(給与改

定費)2,168万6千円、基

金積立費(ふるさと振興基金元

金)2,275万6千円、企画

費(ふるさと納税推進事業関連

費)1,614万1千円、同(地

域経済循環創造事業補助金)2,

500万円、社会福祉総務費(福

祉灯油購入助成事業関連費)対

策事業)408万1千円、同(地

域福祉交通支援(バス乗車券等

助成)対策事業費157万円、

同(障害者医療費)342万円、

環境衛生費(害虫等駆除業務関

連費)276万円、林業費(分

収造林事業費)1,270万円

#### 議案第7号

令和7年度積丹町国民健康保

険事業特別会計補正予算(第3

号)

事業勘定…歳入は、一般会計

繰入金25万3千円を増額。

歳出は、一般管理費(職員人

件費(給与改定費)25万3千

円を増額。

歳入歳出予算の総額に

25万3千円を追加し、歳入歳出

予算の総額をそれぞれ1億2,

411万円にするもの。

直診勘定…歳入は、一般会計

繰入金95万8千円を増額。

歳出は、一般管理費(職員人

件費(給与改定費)95万8千

円を増額。

歳入歳出予算の総額に

95万8千円を追加し、歳入

歳出予算の総額をそれぞれ

1億192万1千円にするも

の。

(原案可決)

#### 議案第8号

令和7年度積丹町簡易水道事

業会計補正予算(第2号)

地方公営企業予算の総額に

24万8千円を追加し、1億4,

260万8千円とするもの。

人事院勧告に準拠した職員給

与費の増額について所要の予算

措置を講ずる。

(原案可決)

#### 議案第9号

令和7年度積丹町集落排水事

業会計補正予算(第2号)

地方公営企業予算の総額

に23万1千円を追加し、7,

126万8千円にするもの。

人事院勧告に準拠した職員給

与費の増額について所要の予算

措置を講ずる。

(原案可決)

#### 議案第10号

令和7年度積丹町一般会計補

正予算(第10号)

国の総合経済対策の裏付けと

なる補正予算が12月16日成立し

たことから、こども1人2万円

の「物価高対応子育て応援手

当」支給経費の予算措置をする

もの。

歳入は、国庫補助金(物価高

対応子育て応援手当支給事務・

事業費補助金)356万円を増

額。

歳出は、児童福祉総務費(物

価高対応子育て応援手当支給関

連費)356万円を増額。

歳入歳出予算の総額に

356万円を追加し、歳入歳出

予算の総額をそれぞれ39億3,

158万8千円にするもの。

(原案可決)

#### 意見案第1号

安全・安心の医療・介護実現

のため人員増と処遇改善を求め

る意見書

提出者・積丹町議会議員

逢坂 節子

(原案可決)



# 地崎道路株式会社へ社会貢献感謝状

## 「しゃこバス発着地」

### 神岬会館前の舗装補修

11月25日、松井町長が神岬会

館前広場の補修工事を行った地崎道路株式会社北海道支店（札幌市）を訪れ、同社平田執行役員支店長へ感謝状を贈りました。

同社は、町内神岬町の沼前駐車場・積丹トンネル間の国道舗装補修工事の施工をご縁に「しゃこバス発着地（神岬会館前広場）」の傷

みが激しい舗装の補修工事を実施しました。

町への地域貢献活動は、令和5年に続き2回目です。

広場はアスファルト補修工事により、積雪寒冷地特有の舗装損傷の改善が図られました。同社の地域貢献活動に感謝します。

平田執行役員支店長（写真・左）と松井町長



# 北後志消防組合積丹支署

## 消防ニュース

広域通信指令共同化に向けて  
積丹支署主催・火災合同訓練

令和8年4月1日からの通信指令業務の共同化に伴い、12月1日に積丹町研修センターで合同訓練を行いました。【一般建物火災／調理室より出火／逃げ遅れた人が1名いる】状況を想定して、積丹タンク車、古平タンク車、余市指揮車、余市タンク車、余市大型水槽車（10t）の3署5台が消火隊として参加。

積丹タンク車は、火災現場直近の持ち場を担当し、火点への放水。古平タンク車は、積丹タンク車へ水槽補給し後方支援。余市タンク車と余市大型水槽車は、火点室の換気のため水力換気ノズルの設置。余市指揮隊の現場統制の下、積丹・古平合同隊が屋内へ進入し、要救助者を救出しました。



＝写真＝  
今回の共同訓練の反省を生かし、今後も訓練に励みます。

火災予防・防火意識を高めよう！  
美国女性防火クラブ・声かけ運動



美国女性防火クラブ（山崎美枝子会長・会員74名）は、11月12日に地域の75歳以上の世帯を防火啓発訪問しました。

これからの季節、暖房機器の使用により火災が発生しやすい時期になるため、住宅の防火・防災を啓発し、乾燥時や強風時の屋内外での火の取り扱いに注意を払うよう呼びかけました。

■積丹支署各種出動状況（単位：件）

	火災	救急	救助	その他
R 7. 11月	0	8	0	2
R 7年累計 (1～11月)	2	116	5	31
R 6年	0	124	13	29

※その他には火災・救急・救助以外の消防車が出動した件数が含まれます。

# 小樽開発建設部便り

No.7

トンネル内で事故に  
あたら、見たら…  
あなたの素早い動作が、命を救います。

トンネル内で万が一事故や火災などが発生した場合、迅速な救援・救護を行うこととともに、後続車・対向車に事故の発生を知らせ、トンネル内への進入をくい止めることが、被害を最小限にとどめることにつながります。

## トンネルに入る前に 災害を知ったら…

- 坑口信号機が赤信号の点滅でお知らせします。
- 警報表示板が赤色灯の点滅とサイレンでお知らせします。



国土交通省 北海道開発局小樽開発建設部

〒047-8555 小樽市潮見台1丁目15番5号  
TEL 0134-33-0525 (工務課)

# 小樽海上保安部便り

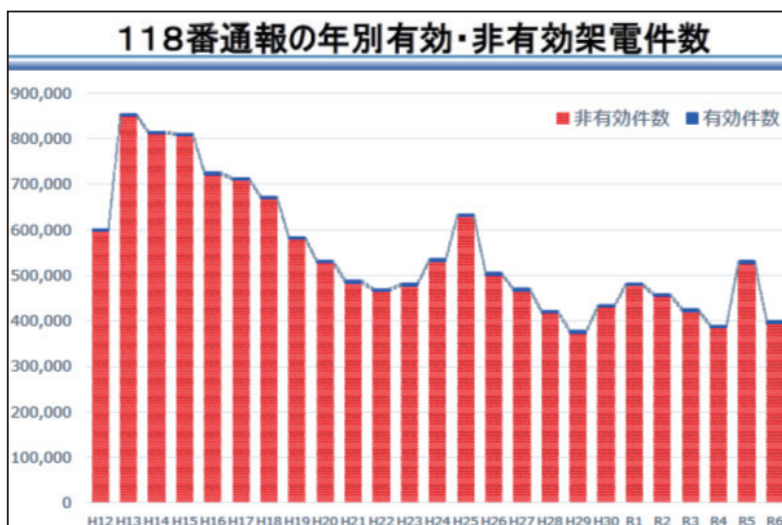
NO. 48

海の事件・事故は118番！ ご存じですか？  
～ 毎年1月18日は「118番の日」です～

海上保安庁では、「海の事件・事故」に迅速かつ的確に対応するため、平成12年から緊急通報用電話番号「118番」の運用を開始し、その正しい利用方法と重要性を多くの方に知っていただきたく、平成22年度に毎年1月18日を「118番の日」と定め、全国各地で周知活動を行っています。

運用開始以降、令和6年までの通報実績は、架電件数のほとんどが「間違い電話」や「いたずら電話」等の非有効架電となっています。

皆さまの正しい利用が、安全・安心につながります。



小樽海上保安部

〒047-0007 北海道小樽市港町5番2号  
0134-23-0481



# ま ち の 日 記 帳



## 元気に頑張りました！

### びくに・みなと保育所生活発表会

みなと保育所は12月7日（31回目）、びくに保育所は12月13日（48回目）に生活発表会がそれぞれ行われました。

子どもたちは、これまで練習を重ねてきた歌や器楽演奏、遊戯などを披露しました。

子どもたちの成長した姿に、保護者や地域の方々から温かい声援と拍手が送られました。



## 地元・積丹沖の魚

### さかなにさわろう！魚拓体験教室

b&g第3の居場所（b&gしゃこたん児童家庭教育支援センター）利用の子どもたちを対象に、**SHAKOTAN**海森学校代表・小山彩由里氏を講師に招きました。

初めに、魚拓の歴史や技法について学び、積丹沖で取れた魚を用いて魚拓体験を行いました。魚の口を開け、ヒレを立てると仕上がり良くなるといったコツをもとに、魚に墨を塗り、半紙を押し当てて魚拓をとりました。最後は、半紙に海藻や魚の名前を書き込み、好きな色の画用紙へ貼り付けて完成させました。

積丹町の海に生息する魚や、日本で受け継がれてきた文化を楽しく学びながら、いろんな種類の魚でできた魚拓をみんなで見せ合い、終始笑顔の絶えない教室でした。

12/10



## 地域のスポーツ交流

### 第33回B & G財団会長杯ソフトバレーボール大会

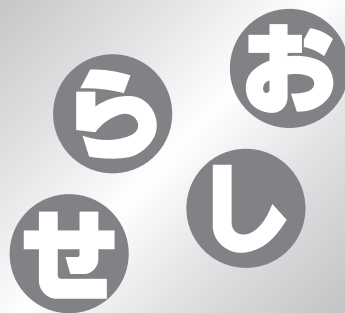
第33回B & G財団会長杯ソフトバレーボール大会がB & G海洋センターアリーナを会場に開催されました。

4チーム16名が参加し、交流を深め、普段の活動の成果を発揮して競技に取り組んでいました。

- 優勝**：チーム中華街（主将：下山 達也）  
**準優勝**：チーム洋クシャーテリア（主将：山下 准司）  
**3位**：チーム和菓子（主将：成田 弘光）  
**4位**：赤鼻のトナカイ（主将：田代 輝）



12/12



各種自衛官等を募集します

自衛官候補生・一般曹候補生

◆応募資格…18歳～32歳未満

◆受験期間…問合わせ先へ

ご連絡ください

◆試験内容

筆記試験、適性検査、口述試験、身体検査等。

予備自衛官補（一般・技能）

◆応募資格

（一般）18歳～52歳未満

（技能）18歳～53歳未満（国家資格を有する）

◆受験期間…問合わせ先へ

ご連絡ください

◆試験内容

筆記試験、適性検査、口述試験、身体検査等。

陸・海・空自衛隊には、車両・船・飛行機を扱う職種が100種類以上あります。

TEL 0570-0514890

上あります。試験内容・イベント案内及び各種個別説明など詳しくは、お問合わせください。

【問合わせ先】  
自衛隊札幌地方協力本部  
小樽地域事務所  
TEL 0134-2215521

無料法律相談所開設

次のとおり無料法律相談所を開設します。

◆日時 1月21日(水)  
午後1時～午後4時

◆定員 6人

【申込・問合わせ先】

余市町役場 総務課

TEL 0135-2112112

※ご利用される方は、事前に申し込みが必要となります。

北方領土の日特別啓発期間

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方四島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

北方領土問題解決のため、日露両国間では外交交渉が続けられています。北方領土返還要求運動が始まってから60年以上が経過した現在なお、領土返還の具体的な

道筋は見えないままとなっています。

北海道では、毎年1月21日から2月20日までを「北方領土の日特別啓発期間」とし、北方領土返還要求に係る国民世論の高揚を図っています。

一日も早い領土問題の解決に向け、皆さんのご協力をお願いいたします。

確定申告会場開設期間等のお知らせ

確定申告会場での相談を希望する方は、LINEによるオンライン事前予約にてお受けします。

当日、会場でも入場整理券を配付しますが、当日の相談枠に限りがあるので、ぜひオンライン事前予約をご利用ください。

なお、申告書等の作成には、次回以降の申告をスムーズにするため、マイナンバーカード（以下、カード）を利用したスマホ申告をご案内しています。スマホ申告には、カードのほか、カード発行時に設定したパスワード（利用者証明用電子証明書・署名用電子証明書）が必要ですので、事前にご確認ください（カード・電子証明書の有効期限にご注意ください）。

譲渡所得・贈与税に関する確定申告会場での相談は事前予約の上、毎週月曜日（午前）と水曜日・金曜日（午後）に限り専門職員がリモート（Web相談）で対応します。

◆開設期間  
令和8年2月16日(月)  
～3月16日(月)まで

◆相談受付時間  
平日…午前9時～午後4時まで  
※入場整理券がなくなり次第終了

◆確定申告会場  
余市税務署（余市町朝日町1番地）  
LINE公式アカウントはこちら

「2月13日(金)までに税務署での相談を希望する方へ」

確定申告会場は開設していませんので、対応できる人数に限りがあります。

1月5日(月)～2月13日(金)までに、税務署窓口での相談を希望する方は、事前予約が必要です（事前予約がない方の申告相談は、受け付けていません）。

【問合わせ先】  
余市税務署総務課  
TEL 0135-2212093



余市税務署（余市町朝日町1番地）  
LINE公式アカウントはこちら

確定申告会場での相談を希望する方は、事前予約が必要です（事前予約がない方の申告相談は、受け付けていません）。

1月5日(月)～2月13日(金)までに、税務署窓口での相談を希望する方は、事前予約が必要です（事前予約がない方の申告相談は、受け付けていません）。

【問合わせ先】  
余市税務署総務課  
TEL 0135-2212093

確定申告会場での相談は事前予約の上、毎週月曜日（午前）と水曜日・金曜日（午後）に限り専門職員がリモート（Web相談）で対応します。

◆開設期間  
令和8年2月16日(月)  
～3月16日(月)まで

◆相談受付時間  
平日…午前9時～午後4時まで  
※入場整理券がなくなり次第終了

◆確定申告会場  
余市税務署（余市町朝日町1番地）  
LINE公式アカウントはこちら

「2月13日(金)までに税務署での相談を希望する方へ」

確定申告会場は開設していませんので、対応できる人数に限りがあります。

1月5日(月)～2月13日(金)までに、税務署窓口での相談を希望する方は、事前予約が必要です（事前予約がない方の申告相談は、受け付けていません）。

【問合わせ先】  
余市税務署総務課  
TEL 0135-2212093

わが家の **めんこ** ちゃん

つつしお **筒塩** ちゃん  
(1月30日生・余別町)

兄姉たちといたないないばあをして  
ガラガラ笑っています。

優しく元気いっぱいになってほしいです。  
(佑輔さん・愛さん)



# 1月のこよみ

7(水) ●積丹消防団 出初式

11(日) ●令和8年二十歳の集い

## 文芸だより

ー1月の俳句ー  
(美国踏青俳句会)

冬 蕎 少 派 手 目 の ス ウ エ ャ ャ ャ ャ  
敷 設 へ と 位 牌 を 荷 に し 年 の 暮  
賑 や か さ ど こ へ 消 え た か 年 の 暮  
亡 さ 夫 の グ ラ ス 片 手 に 寒 夜 か な  
冬 晴 れ や 学 舎 百 の 五 十 年  
紙 垂 を 折 る 心 和 ら ぎ 年 の 暮

藤原 わ子  
戸来 和子  
河岸 悟郎  
菊谷 知子  
山崎美枝子  
福井 新一

善意に感謝します

社会福祉法人 積丹町社会福祉協議会

白 川 幸 治 様 (日司町)

30,000円

## 1月の余市管内休日当番病院等

診療時間：午前9時～午後5時

日(曜日)	医療機関名	住 所	電話番号
1日(木)	中 島 内 科	余市町黒川町	22-3866
2日(金)	余 市 協 会 病 院	余市町黒川町	23-3126
3日(土)	勤 医 協 余 市 診 療 所	余市町黒川町	22-2861
4日(日)	よ い ち ク リ ニ ッ ク	余市町山田町	21-4570
11日(日)	林 病 院	余市町山田町	22-5188
12日(月)	池 田 内 科 ク リ ニ ッ ク	余市町黒川町	23-8811
18日(日)	黒川町整形外科クリニック	余市町黒川町	22-2447
25日(日)	森 内 科 胃 腸 科 医 院	仁木町北町	32-3455

※受診される方は、あらかじめ病院等に電話確認をお願いします。

## 北海道の最低賃金 ちゃんとチェック！最低賃金

最 低 賃 金 件 名	最低賃金額(1時間)	効 力 発 生 日
北 海 道 最 低 賃 金	1,075円	令和7年10月4日
特 定 最 低 賃 金		
処理牛乳・乳飲料、乳製品、 砂糖・でんぷん糖類製造業	1,113円	令和7年12月1日
鉄 鋼 業	1,165円	令和7年12月1日
電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具、情報通信機械器具製造業	1,116円	令和7年12月1日
船舶製造・修理業、船体ブロック製造業	1,105円	令和7年12月1日

●特定最低賃金の種類により適用範囲等が異なりますので、詳しくは北海道労働局賃金室TEL 011-709-2311 または小樽労働基準監督署TEL 0134-33-7651へお問い合わせください。

## ふるさと納税の状況

全国の皆さま  
ご協力ありがとうございました

《令和7年11月30日現在》

4,735件 66,667,800円

### 積丹町スマートフォンアプリ 「しゃこたん地域情報」

IP告知端末と同じ  
配信情報がスマート  
フォンから「いつでも」  
「どこでも」確認でき  
ます。



こちらから  
ダウンロード

### 広報しゃこたんのアプリ 配信を始めました！

スマートフォンア  
プリ「マチイロ」で  
は、広報しゃこたん  
のカラー版を読むこ  
とができます。



こちらから  
ダウンロード

### 積丹町公式LINE アカウントできました！

メニューの『AI  
チャットボット』か  
らの問い合わせで、  
閉庁日や勤務時間外  
も回答しています。



こちらから  
ぜひ友達登録

## 交通安全はみんなの願い

(ゼロ)  
死亡交通事故 0 の日

2,369 日達成

(令和7年12月1日現在)

## 人のうごき

世帯数／ 953世帯(±0)  
人 口／1,622人(−2)  
男 ／ 761人(−1)  
女 ／ 861人(−1)

●転入／1人(−2) ●転出／1人(−9)  
●出生／1人(±0) ●死亡／3人(−1)

令和7年11月30日現在、( )内は前月比

大坂 鈴木 白川  
寛一 時雄 サワ  
93 87 97  
歳 歳 歳

日司町 美国町 日司町

菊地 笑美里  
彩 省 乃 吾  
乃 吾 美国町

乃 吾 美国町

こんにちばようしく(出生)

なまえ おとうさん ところ

慶 弔 録